



ビューアソフトの使い方

あらかじめDMRの取扱説明書を参照してビューアソフトをパソコンにインストールしてください。

HKS DMR ビューアソフト必要動作環境

- システム構成：○CPU・Core2Duo相当以上 ○RAM・2GB以上
- ○50GB以上のハードディスク
- ○インターネット接続環境 ○1,280×800以上の画像解像度をサポートするディスプレイ
- ○OS・Microsoft Windows 7以降 およびInternet Explorer7.0以降が動作可能な環境

※パソコンのOSやその他のソフトウェア環境の変化により変更になる場合があります。

ソフトウェア使用許諾事項

本ソフトウェアはお客様が本使用許諾事項にご同意いただいた場合のみご提供いたします。
下記の許諾内容をご確認のうえ、本許諾事項にご同意いただいた上でご使用ください。

1. 使用権を許諾するソフト DMRビューアソフト
2. 著作権 本ソフトの著作権は株式会社エッチ・ケー・エスが所有します。
3. 使用権
 - 1) 使用権とは購入者（以下お客様という）が1台のコンピュータ・システムで使用することを意味します。
 - 2) 本ソフトの使用権は次の3) 項に示す方法以外では、いかなる方法によっても第三者に譲渡および貸与することはできません。
 - 3) お客様は以下の条件を全て満たしている場合に限り、本ソフトウェアを譲渡できます。
 - ・ の使用許諾契約書、マニュアル、許諾された複製物等を
 - 含む本ソフトウェアの全てを譲渡すること
 - ・お客様が一切のコピーを所持せず、ハードウェアへのコピー等を削除すること
 - ・譲受人がこの使用許諾契約書に同意すること
 - また、バージョンアップされていて、旧バージョンのソフトウェアを保存されている場合は、旧バージョンの一切を譲渡しなければなりません。
 - 4) の使用権はDMRビューアソフトを最初にインストールした日から発効します。
4. 複製または改造
 - 1) 本許諾事項で提供されるプログラムディスク及び印刷物を前項使用権の範囲外の目的で複製または改造することを禁止します。
 - 2) お客様は、本プログラム及び付属物の全部または一部を修正、改変、逆コンパイルまたは逆アセンブル等を行うことはできません。または第三者にこのような行為をさせてはなりません。 お客様が使用権の範囲内の使用目的で本ソフトの改造をした場合は、本ソフトの機能保証はできません。
 - 3) 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載あるいは複製することは、法令に別段の定めがある場合を除き、固く禁じられています。
5. 免責
本ソフト使用によって生じたいかなる損害に対しても、株式会社エッチ・ケー・エスは一切の責任を負いません。また、株式会社エッチ・ケー・エスは、本プログラムの機能がお客様の要求と合致すること、あるいは本プログラムの作動に中断やエラーのないことを保証するものではありません。
株式会社エッチ・ケー・エスは、本プログラムの使用に付随または関連して生じる直接的または間接的な損失、損害などについて、如何なる場合においても一切責任を負わず、また本プログラムの使用に起因または関連してお客様と第三者との間に生じた如何なる紛争についても、一切責任を負いません。

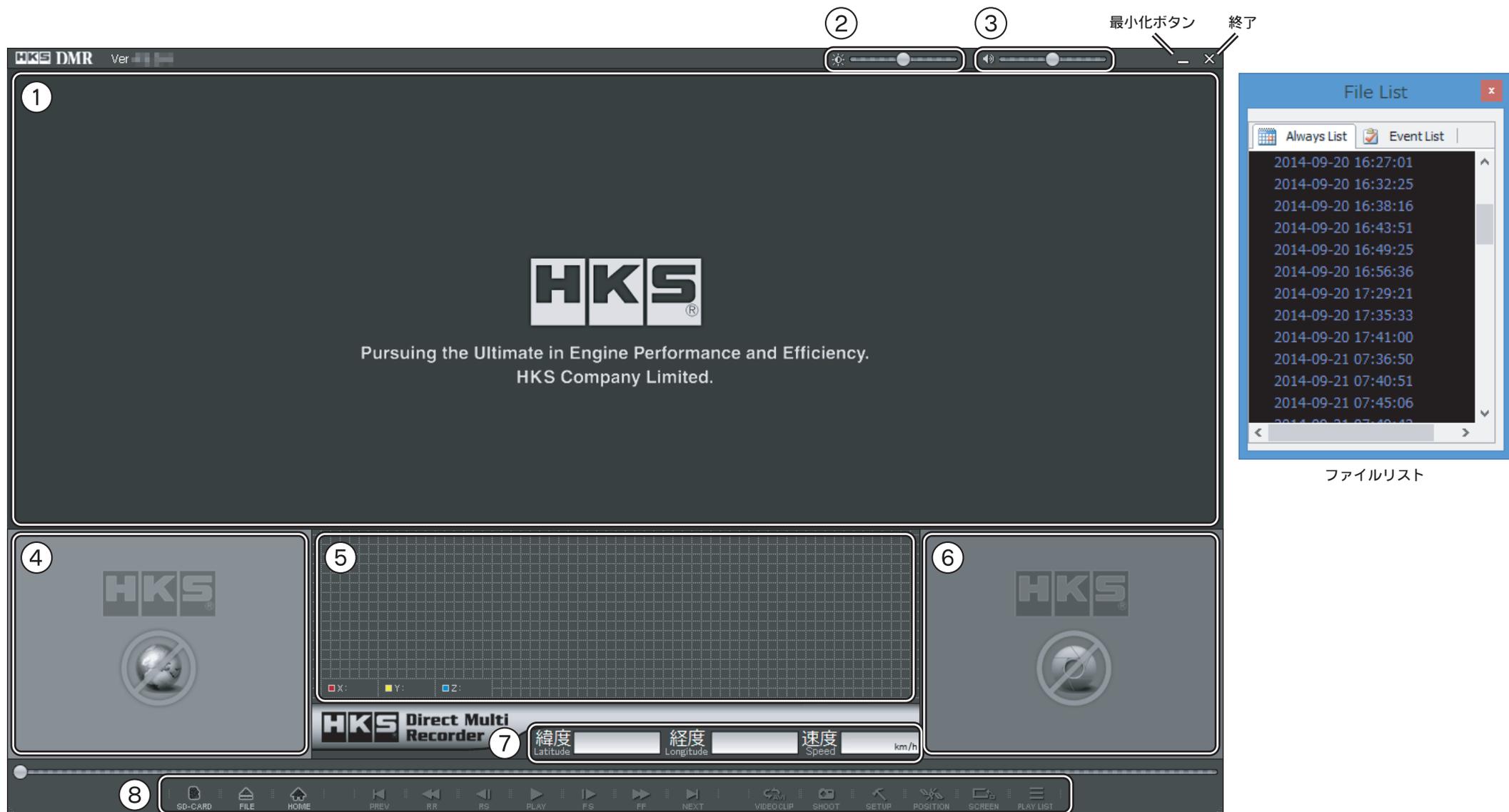
目次

ソフトウェア使用許諾事項	1
目次	1
ビューアソフト画面内の名称と機能	2
ビューアソフトの使い方	4

本ソフトウェアはHKS DMR-200D専用のビューアソフトです。
DMR-100DおよびDMR-150Dで記録した映像の再生、および設定の変更はできません。

- パソコンおよび周辺機器の取扱い、操作方法はそれぞれの取扱説明書をよくお読みになり、各メーカーの定める手順に従ってください。パソコンおよび周辺機器の取扱い、操作方法に関しましては当社ではサポートをいたしかねますのであらかじめご了承ください。

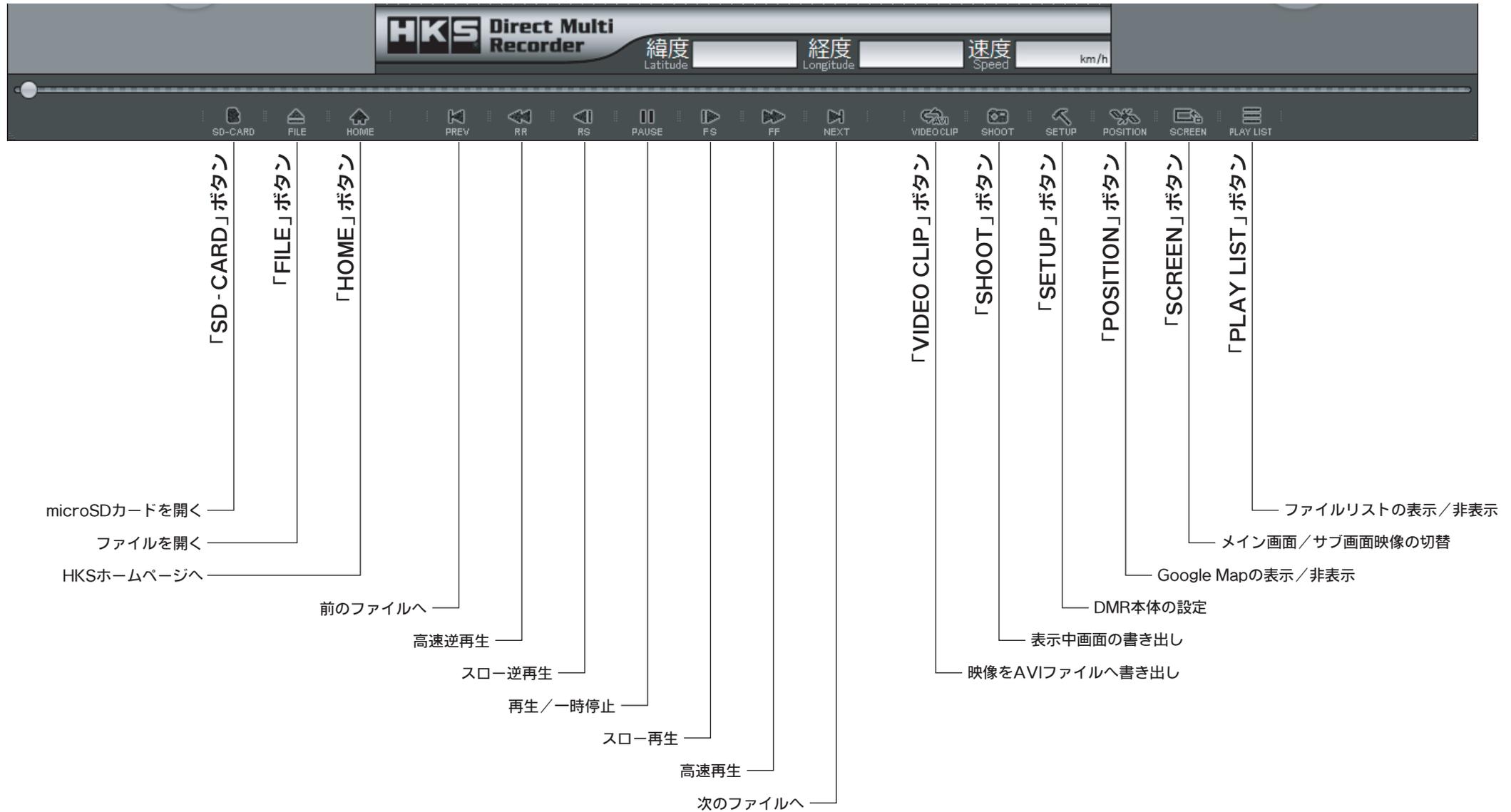
ビューソフト画面内の名称と機能



No.	名称	機能
①	メイン画面	現在再生されている映像を表示します
②	明るさ調整	映像の明るさを調整します (暗←→明)
③	音量調整	再生音量を調整します (小←→大)
④	地図画面	Google Mapを表示します

No.	名称	機能
⑤	Gセンサーグラフ	Gセンサー信号の変化を表示します (X:前後、Y:左右、Z:上下)
⑥	サブ画面	セカンドカメラの映像を表示します
⑦	GPS・車速表示	GPSのデータと車速を表示します
⑧	コントロールボタン	映像操作やその他の機能を使用します

コントロールボタンの機能



映像を見るためには

- パソコンおよび周辺機器の取扱い、操作方法はそれぞれの取扱説明書をよくお読みになり、各メーカーの定める手順に従ってください。パソコンおよび周辺機器の取扱い、操作方法に關しましては当社ではサポートをいたしかねますのであらかじめご了承ください。

1. パソコンに接続する

DMR本体の電源を切り、全てのLEDが消灯してから、DMR本体からmicroSDカードを取出し、パソコンに接続したUSBカードリーダー等に挿入してください。

USBカードリーダー等は付属しておりません。別途ご用意ください。

2. ビューソフトの起動

ショートカットのアイコンをダブルクリックするか、「すべてのプログラム」から起動します。起動するとビューソフト画面が表示されます。

3. ファイルを開く

「SD-CARD」ボタンをクリックして、microSDカードを指定してください。「FILE」ボタンをクリックして再生したいファイルを直接指定することも可能です。

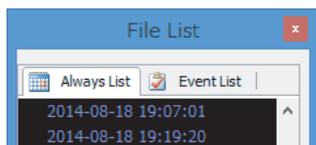
microSDカードもしくはファイルを指定すると、パスワードを要求するウィンドウが表示されます。設定した4ケタのパスワードを入力して、[OK] をクリックしてください。



初期設定パスワードは [0000] です。設定ウィンドウ(本書6ページ参照)で変更できます。

4. ファイルの配置

microSDカード、ファイルが開かれると、ファイルリストが表示され、一番上のファイルから自動再生します。



通常の映像は“Always”タブに、衝撃感知モードで記録された映像は“Event”タブにそれぞれ表示されます。

映像をAVI形式に変換するためには

DMR本体で記録した映像は、本ビューソフト以外の一般的なメディアプレイヤーでは再生することはできません。映像をAVI形式に変換することで、ビューソフトの画面そのまま(コントロール部分を除く)を一般的なメディアプレイヤーでの再生ができるようになります。

任意の時間の幅で変換することができます。

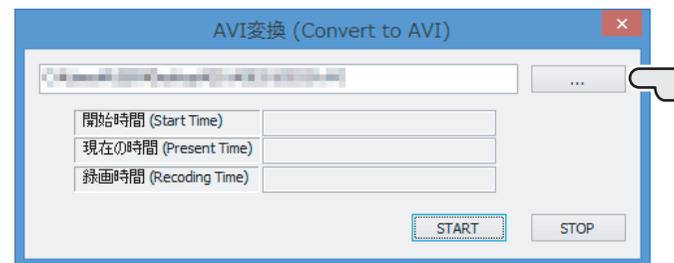
変換した映像は、1280×720サイズです。

1. 変換準備

変換したい箇所があるファイルの再生中に「VIDEO CLIP」ボタンをクリックしてください。

2. 変換ウィンドウ

変換ウィンドウが表示されます。変換ファイルの保存先およびファイル名を決定してください。



3. 変換開始

変換を始めたポイントで [START] ボタンをクリックしてください。“開始時間”の欄にその時刻が表示され、“録画時間”の欄に経過時間が表示されます。

アドバイス

一時停止や高速/スロー再生、時間やファイルの変更といった操作がそのまま反映されます。画面で見たままの映像がAVIファイルとして変換されます。(地図画面を除く)

4. 変換終了

変換を終了したいポイントで [STOP] ボタンをクリックしてください。録画時間のウィンドウが表示されますので、確認後 [OK] をクリックしてください。2. で決定した場所にファイルが生成されます。

ビューアソフトの使い方

映像をキャプチャするには

映像の再生／一時停止時に映像およびビューアソフトの表示すべて(コントロール部分を除く)を画像として書き出します。

保存したいポイントで「SHOOT」ボタンをクリックしてください。

保存ウィンドウが表示されますので、保存先およびファイル名を決定してください。[保存]をクリックするとキャプチャファイルが保存されます。

Google Mapウィンドウを表示するには

「POSITION」ボタンをクリックしてください。

別ウィンドウでGoogle Mapが表示されます。インターネット接続環境が必要です。再度クリックするとウィンドウを閉じます。

メイン画面とサブ画面の映像を入れ替えるするには

「SCREEN」ボタンをクリックしてください。

メイン画面とサブ画面の映像を入れ替えます。

ファイルリストを表示するには

「PLAY LIST」ボタンをクリックしてください。

別ウィンドウでファイルリストが表示されます。再度クリックするとウィンドウを閉じます。

HKSホームページを表示するには

「HOME」ボタンをクリックしてください。

外部ブラウザでHKSホームページが表示されます。インターネット接続環境が必要です。

ビューアソフトを終了するには

ビューアソフト右上のボタンをクリックしてください。

ビューアソフトを終了します。

Gセンサーグラフの横幅について

Gセンサーグラフの横幅は走行状況により異なります。市街地や森の中等、画面内の情報量が多いと横幅が短くなります。

パソコンからの再生

microSDカード内の「EVTINFO.DMR」、「RINFO##.DMR」データをパソコンにコピーし、そのファイルから再生することもできます。

その際は、ファイル保存フォルダ内に「LSTINFO.DMR」もコピーしてください。

DMR本体の設定

DMR本体の設定、ビューソフトのパスワードを変更します。
DMR本体の設定はDMR本体のビューモードでも変更できます（時刻帯は設定できません）。DMR本体取扱説明書22ページを参照してください。

microSDカードを開いた状態で「SETUP」ボタンをクリックしてください。
設定ウィンドウが表示されます。
各設定を変更し、保存する場合は [OK] をクリックしてください。



注意

- [Cut Voltage]の項目はお車の電圧に合わせて適切なカット電圧を選択してください。本製品が正常に動作しないおそれがあります。お車のバッテリーがあがってしまうおそれがあります。12V車は10.1V~12.9V、24V車は20.1V~25.9Vの間で設定してください。

項目	初期設定	設定内容
Frames/Sec.	10	数値が大きいくほど滑らかな映像になりますが、記録できる時間が短くなります。
Parking Mode	OFF	駐車時にモーション感知機能を用いて映像を録画します。10分間録画映像に変化がなかった場合に自動的に駐車モードに移行します。駐車モード時にはモニターで動きが感知された時のみ録画します。 ※ 周囲の状況により正しく動作しない場合があります。衝撃を感知したり、車が動き出したりすると自動的に通常動作に切り替わります。常時電源接続ケーブルを使用する際は、お車のバッテリー保護のため、この項目を『ON』にすることをおすすめします。
Cut Voltage	12.3V	バッテリー電圧が設定した電圧を10秒間下回ると自動的にDMR本体の動作を終了します。バッテリー電圧が設定した電圧を上回るとDMR本体の動作を再開します。
G-Sensor	OFF	衝撃センサーの感度を設定します。『OFF』以外に設定すると、設定された感度に応じて衝撃を感知し、イベント映像として独立して保存されます。(衝撃の前後10秒ずつ)数字が小さい方が小さな衝撃でも感知して記録します。イベント映像はmicroSDカード内の専用領域に保存されます。 ※ 衝撃センサーが感知しない軽微な小さな衝撃では記録されない場合があります。
Camera Image Flip	Normal Normal	DMR本体カメラおよびセカンドカメラ映像の保存向きを設定します。
MIC	ON	音声を録音するかどうかを設定します。
Buzzer	□ HIGH	DMR本体起動時・終了時、ボタン操作時のブザー音量を設定します。OFFに設定してもボタン操作時とエラー時のブザーを消すことはできません。
Time	-	内蔵時計の時間を設定します。
GMT Set	+9:00	時間帯を設定します。日本国内では+9:00に設定してください。DMR本体のファームウェアバージョン [R2HDH6E] 以降が必要です。
Summer Time	-	サマータイムを使用するかどうかを設定します。
Change the PASSWORD	0000	記録した映像を再生する際のパスワードを変更します。一番上の欄に現在のパスワード、二番目に新しいパスワード、一番下の欄に新しいパスワードを確認用で入力し、[Confirm] ボタンをクリックしてください。パスワードは数字4ケタです。



<http://www.hks-power.co.jp/>

株式会社 エッチ・ケー・エス
〒418-0192 静岡県富士宮市北山7181

HKS Co.,Ltd.

7181 Kitayama, Fujinomiya, Shizuoka 418-0192, JAPAN

禁無断複写・転載
Unauthorized reproduction is strictly prohibited.

本書に記載されている各種名称、製品名、会社名などは一般に各社の商標または登録商標です。
本書ではTM、®などのマークは記載していません。